

高知市中心街に

木造建築「相談窓口」 近日オープン！



【場所】

◆ 高知市帯屋町 1-14-20 ビル(ST 柳町 1)2F

【連絡先】

◆ (一社)高知県木材協会(TOSAZI センター) 松岡

☎088-883-6721 FAX 088-884-1697

e-mail: info@k-kenmoku.com

【目的】

- ◆ 少子高齢化等により、今後、新設住宅着工数の減少が予想される中、木材需要の維持・拡大のためには、これまで低位であった非住宅建築物の木造化・木質化を推進することが重要です。

このため、市町村等が公共建築物木造化・木質化を推進する際の設計・監理・施工に関する諸々の疑問への対応や県内の川上、川中、川下の各事業体の木材需要のためのマッチングの場としての機能を持つ木造建築「相談窓口」を開設します

木材需要の開拓及び県産材の活用に向けた体制の強化

1. TOSAZAIセンターの設置目的

A材をはじめとする県産材製品等の県内外への販売促進及び県内の製材所、木製品を取り扱う市場、木材関係企業等の外商促進に向けた取り組みの支援体制を強化するため、県内の木材業界をサポートする「TOSAZAIセンター」を平成30年4月に設置し、木材産業の発展と県産材の需要拡大を推進

2. TOSAZAIセンターの事業展開

■戦略1 既存マーケットシエアの拡大【住宅】

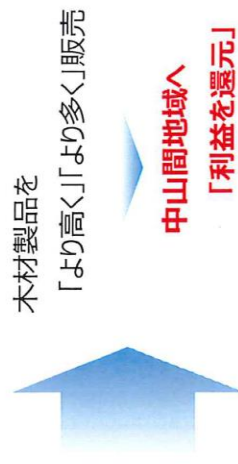
・県外市場における外商促進に向け、県内生産体制の整備や流通の改善等の取り組みを展開

■戦略2 新たなマーケットの開拓【非住宅】

・非住宅建築物の木造化を促進するため、新商品と一般製材品をセットで提案・売り込み

■戦略3 新たな活用策の展開【内装材等】

・木材製品の付加価値を高めるため、店舗・マンション内装等に使用する県産材製品（内装、建具、家具等）の開発、製造・販売をサポートする取り組みを展開



少子高齢化等により新設住宅着工の減少が推測される中、非住宅分野の開拓が急務

非住宅木造建築の推進に向け、施主への理解醸成と建築士の育成を図ることが必要

3. TOSAZAIセンターの取り組み強化

■全国レベルの建築士集団との連携

team Timberizeと連携し、施主等へのプッシュ型提案、建築士の育成、付加価値の高い商品開発に向けた取り組みを展開



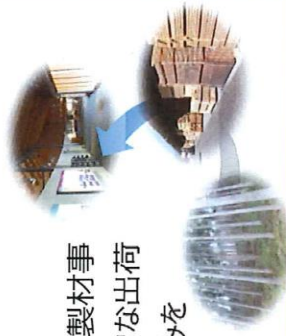
■提案・相談窓口の設置

県内外の木造建築に関するプッシュ型提案・相談窓口を設置し、木造・木質化を推進



■サブプライチエーン・マネジメントの推進

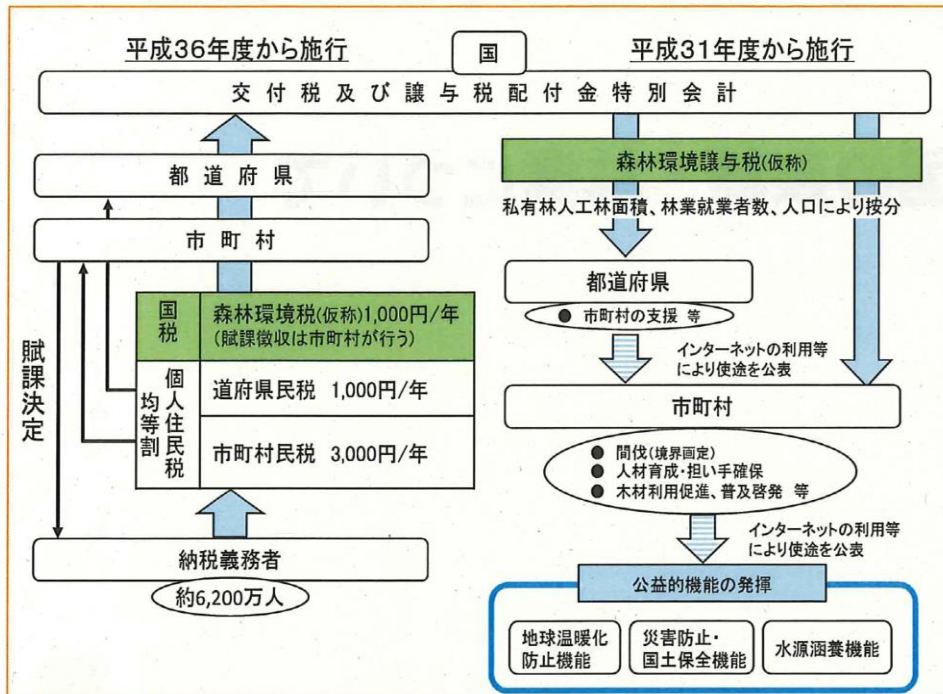
県内の流通、製材事業者等と効率的な出荷に向けた取り組みを展開



森林環境税と森林環境譲与税の創設

- 森林吸収源対策に係る地方財源を確保するため、平成30年通常国会における森林関係法令の見直しを踏まえ、平成31年度税制改正において、森林整備等のために必要な費用を国民1人1人が広く等しく負担を分かち合って森林を支える仕組みとして、森林環境税と森林環境譲与税を創設。

森林環境税(仮称)と森林環境譲与税(仮称)の制度設計のイメージ



○市町村・都道府県への譲渡割合と譲渡基準

1 市町村分	50% 私有林人工林面積 (※林野率による補正) 20% 林業就業者数 30% 人口
2 都道府県分	市町村と同じ基準
3 市:県の割合	H31~36年 80:20 H41~44年 88:12 H37~40年 85:15 H45年以降 90:10

○各年の市町村・都道府県への譲与額

(単位:億円)

	H31~33年	H34~36年	H37~40年	H41~44年	H45年以降
総額	200	300	400	500	600
市町村分	160	240	340	440	540
都道府県分	40	60	60	60	60
徳島県	4	6	8	10	12
香川県	1	1	2	2	2
愛媛県	5	7	9	12	14
高知県	7	11	14	18	21

※四国4県は試算値

林業の成長産業化と適切な管理に向けて



第54回全国木材産業振興大会

“次世代へつなぐウッドファースト社会を目指して”

主 催：(一社) 全国木材組合連合会・全国木材協同組合連合会
大会担当：(一社) 全国木材組合連合会四国支部
開催地担当：(一社) 高知県木材協会・高知県木材産業協同組合連合会

日 時：令和元年11月6日(水) 13時 開会
場 所：高知市文化プラザかるぽーと 大ホール
高知市九反21-1 電話：088-883-5011

次 第

第1部 大会議事

13:00～14:15

- 国歌斉唱
- 1. 開会の言葉
- 2. 黙とう
- 3. 歓迎挨拶
- 4. 大会会長挨拶
- 5. 来賓祝辞
- 6. 来賓紹介
- 7. 祝電披露
- 8. 大会宣言・行動宣言決議
 - (1) 現地報告
 - (2) 大会宣言決議
 - (3) 行動宣言決議
 - (4) 決意表明



第2部 記念講演

14:30～16:00

- 1. 挨拶
- 2. 講演
 - 演題：「土佐と材木 ―土佐藩の財政と林業―」
 - 講師：高知県立高知城歴史博物館 館長 渡部 淳 氏

第3部 表彰式

16:15～17:30

- 1. 挨拶
- 2. 来賓祝辞
- 3. 前大会以降退任団体長表彰
 - (1) 全木連会長感謝状贈呈
 - (2) 全木協連会長感謝状贈呈
- 4. 木材産業功労者表彰
 - (1) 林野庁長官感謝状贈呈
 - (2) 全木連会長表彰状授与
- 5. 協同組合事業功績者及び優良組合表彰
 - (1) 林野庁長官感謝状贈呈
 - (2) 全木協連会長表彰状授与
- 6. 受賞者代表謝辞
- 7. 次期開催地代表挨拶
- 8. 閉会の言葉



《懇親会》 ホテル日航高知旭ロイヤル

18:00～19:40

高知県におけるCLT建築物

設計中(11)

R元7.1現在

施工中(1)

完成した施設(18)

高知おおもと製材社宅

- ◇所在地:大豊町
- ◇用途:共同住宅 3F
- ◇延べ床面積 約260㎡
- ◇完成:H26.3
- ◇設計:日本システム設計
- ◇施工:岸之上工務店



国内第1号

窪津漁業(協)事務所

- ◇所在地:土佐清水市
- ◇用途:事務所 2F
- ◇延べ床面積 約250㎡
- ◇完成:H28.1
- ◇設計:建築舎KIT KAM設計工房
- ◇施工:世工務店



高知県森林組合連合会事務所

- ◇所在地:南国市
- ◇用途:事務所 2F
- ◇延べ床面積 約1,200㎡
- ◇完成:H28.3
- ◇設計:ふつう合班 HF設計
- ◇施工:岸之上工務店



県立農業担い手育成センター 長期研修用宿泊施設

- ◇所在地:四万十町
- ◇用途:寄宿舎 2F
- ◇延べ床面積 約720㎡
- ◇完成:H28.5
- ◇設計:田中建築設計事務所 日本システム設計
- ◇施工:田邊建設



田井高齢者福祉施設

- ◇所在地:土佐町
- ◇用途:福祉施設 2F
- ◇延べ床面積 約590㎡
- ◇完成:H28.5
- ◇設計:錦江章宏建築設計事務所 HF設計
- ◇施工:岸之上・筒井特定JV



高知県自治会館 【上部3層木造】

- ◇所在地:高知市
- ◇用途:庁舎 6F
- ◇延べ床面積 約3,600㎡
- ◇完成:H28.9
- ◇設計:細木建築研究所 桜設計集団一般建築事務所 縦建築事務所
- ◇施工:竹中工務店四国支店



ST柳町 I

- ◇所在地:高知市
- ◇用途:店舗・事務所 3F
- ◇延べ床面積 約240㎡
- ◇完成:H29.6
- ◇設計:建築設計群無垢 桜設計集団一般建築事務所
- ◇施工:大旺新洋



宿毛商銀(信組)事務所

- ◇所在地:宿毛市
- ◇用途:事務所 2F
- ◇延べ床面積 約800㎡
- ◇完成:H29.6
- ◇設計:紳建築工房 山本構造設計事務所
- ◇施工:山幸建設



県立林業大学校

- ◇所在地:香美市
- ◇用途:学校 2F
- ◇延べ床面積 約1,460㎡
- ◇完成:H29.10
- ◇設計:細木建築研究所 桜設計集団一般建築事務所
- ◇施工:岸之上工務店



馬路村森林組合事務所

- ◇所在地:馬路村
- ◇用途:事務所 2F
- ◇延べ床面積 約122㎡
- ◇完成:H29.11
- ◇設計:建築舎KIT 北添建築研究室
- ◇施工:建築工房縁e



はるのガーデン 【上部4層木造】

- ◇所在地:高知市
- ◇用途:福祉施設 6F
- ◇延べ床面積 約2,610㎡
- ◇完成:H30.4
- ◇設計:高橋設計 山本構造設計事務所
- ◇施工:ミタニ建設工業



北川村温泉

- ◇所在地:北川村
- ◇用途:宿泊施設 2F
- ◇延べ床面積 1,470㎡
- ◇完成:H30.5
- ◇設計:倉橋建築計画事務所 日本システム設計
- ◇施工:田邊建設



四国森林管理局 嶺北森林管理署

- ◇所在地:本山町
- ◇延べ床面積:約525㎡
- ◇完成:H30.12(新庁舎部分)
- ◇設計:(株)あい設計
- ◇施工:宮崎技建



トラスト建設事務所

溝淵林業倉庫

- ◇所在地:津野町
- ◇用途:倉庫
- ◇延べ床面積:約1,200㎡
- ◇完成:H28.3
- ◇設計:ふつう合班 HF設計
- ◇施工:岸之上工務店



香南市子育て支援センター

北川村地域コミュニティ施設

津野町森林組合事務所

- ◇所在地:香南市
- ◇用途:子育て支援センター
- ◇延べ床面積:約1,200㎡
- ◇完成:H28.3
- ◇設計:ふつう合班 HF設計
- ◇施工:岸之上工務店



- ・心の教育センター
- ・大豊町教育施設
- ・ひまわり幼稚園(南国市) ・(有)上田微生物 事務所(須崎市)
- ・(株)片岡電気工事 事務所(高知市)
- ・商業用貸店舗(南国市)
- ・丸和林業(株)奈半利事務所(奈半利町)
- ・(有)明星建設(四万十市)

CLT建築物 及び 非住宅木造建築物の設計費に対する補助

(高知県 木材産業振興課)

事業区分	工種又は区分	補助対象経費	事業主体	補助率等
CLT等を用いた建築物の実証等	建築物の設計	<u>設 計 費</u>	市町村、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律施行令（平成 22 年政令第 203 号）第 1 条各号に規定する建築物を整備する者、その他知事が認める者で、 <u>県内に事業所を有し、原則として県内に法人登記をしている建築主</u>	<u>2分の1以内</u> <u>ただし、補助</u> <u>限度額は1棟</u> <u>当たり 500 万</u> <u>円</u>

(注) 1 設計費は、高知県内に整備する非住宅建築物(ただし、1棟当たりの延べ床面積500㎡以上の公営住宅を含める。)の設計委託に要する経費。

2 構造用として用いるCLTの使用量は、延べ床面積1㎡当たり概ね0.05㎡以上。

3 補助対象経費は、国、県のその他の補助事業の対象となっていないもの。

4 当該事業により前年度までに補助金の交付決定を受けた建築物は、補助の対象外とする。

5 2020年3月15日までに事業が完了するもの。

6 特段の事情がある場合を除き、県又はCLT建築推進協議会が実施するCLT利用促進のための普及啓発（見学会及び視察受け入れ、建築積算の分析等）にご協力をお願いします。

2. 非住宅建築物木造化促進事業

事業区分	工種又は区分	補助対象経費	事業主体	補助率等
非住宅建築物の整備	建築物の設計	設計費	市町村、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律施行令（平成22年政令第203号）第1条各号に規定する建築物を整備するもの、その他知事が認めるもので、 <u>県内に事業所を有し、原則として県内に法人登記をしている建築主</u>	<u>2分の1以内</u> <u>ただし、補助限度額は1棟当たり300万円</u>

- (注) 1 設計費は、高知県内に整備する非住宅建築物(公営住宅を含む。)の設計委託に要する経費。
- 2 対象となる建築物は、耐火建築物、準耐火建築物、延べ床面積が概ね500m²以上の建築物、及び、県内事業者が県産材を用いて概ね5年以内に構造用として開発した製品を活用する建築物のいずれかの条件を満たすもの。
- 3 高知県産の木材を活用した製材品の使用量は、延べ床面積1 m²当たり概ね0.18m³以上。
- 4 補助対象経費は、国、県のその他の補助事業の対象となっていないもの。
- 5 当該事業により前年度までに補助金の交付決定を受けた建築物は、補助の対象外とする。
- 6 2020年3月15日までに事業が完了するもの。
- 7 特段の事情がある場合を除き、県が行う建築積算の分析等への成果品の使用にご協力をお願いします。
- 8 設計図書等には「原則として高知県産材を活用した製材品等」を明記するなど、県産材の活用に留意をお願いします。
- 9 補助金額の算出に当たって、補助対象経費に補助率等を乗じて算出された金額に1千円未満の端数が生じた場合、端数は切り捨てるものとします。

(問い合わせ先)

高知県木材産業振興課(需要拡大担当) 弘瀬、霊山、乃一

〒780-0850

高知県高知市丸ノ内1丁目7-52

Tel 088-821-4593

令和元年度 通常総会 高知県木材協会

日時：令和元年 5 月 30 日 会場：高知会館



当協会、高知県木材協会（小川康夫会長）の通常総会は、高知県木材産業協同組合連合会、高知県木材産業政治連盟と同時に行われ、平成 30 年度の事業報告、収支決算及び 31 年度事業計画等を審議、いずれも原案通り承認された。（会員数は 43 名・改選により役員は一部変更）

30 年度の主な事業は、①木材需要拡大普及啓発事業 ②木材産業振興・支援・調査・指導事業を中心に、木材 PR の推進、大消費地への需要拡大、JAS 性能表示木材の流通促進など高知県木材産業（協）連合会とも連携し、新規開拓などの促進やサポート事業を行った。

高知県木材産業（協）連合会では 30 年度

- ①（土佐の木販売促進事業）関西、関東、中国地方で消費地相談会や商談会、展示会ほか産地セミナーなどを開催。（土佐自然素材で家づくり商談会等）土佐材の知名度向上と部材販売の拡大を図る
- ②（販売拡大拠点設置事業）大消費地に流通拠点を設置し土佐材外商の推進を図る。拠点数は前年より 1 箇所増え 25 箇所。販売実績は、ロット約 6,200 m³、邸別 16 棟（約 400 m³）

（高知県木材産業政治連盟）

30 年度は 9 月 22 日（土）三翠園ホテルで中谷 元衆議院議員を交え、懇談会で業界の実情説明と意見交換を行った。今年度も関係者らと調整を図り、政治連盟懇談会を催す予定。

◆本年度は、全国木材産業振興大会が本県で開催される。

日時：令和元年 11 月 6 日（水）

会場：高知市文化プラザカルポート 大ホール



◆第 2 回もくもくエコランドは 10 月 26 日（土）～27 日（日）、昨年に引き続き高知中央公園で開催予定



高知都市木造セミナー

『高知都市木造 CG を解剖し、高知発の部材開発につなげる』

中層木造建築物へ県産材を活用していくためには、単なる木材供給だけではなく、オリジナルな都市木造部材開発が必要となる。

今回はその実質的なスタートとして、講師の方々との率直な意見交換の場を設け、都市木造の部材開発に向けたレクチャーを2日連続で行った。レクチャーの後には、設計者と参加者によるグループ意見交換ワークショップほか懇親会で交流を図った。

日時： 7月11日（木）・12日（金） 2日連続

場所： いの町すこやかセンター



内容

- 1 設計レクチャーteam Timberize (小杉、内海、山田、横畠、東、久原、八木)
- 2 参加者による意見交換ブレスト (モデレーター：八木、久原)

◆次回の都市木造セミナーは9月12日（木）（高知会館）で開催予定



JAS 事業等説明会

「JAS 構造材利用拡大事業、外構部の木質化対策支援事業」説明会を開催

高知県木材協会・高知県木材産業協同組合連合会

今後、人口減少に伴い住宅分野の木材需要拡大が厳しい状況の中、木造率が低位な非住宅建築物の木造化を推進し木材需要拡大を図る必要があることから、林野庁では昨年度から「JAS 構造材利用拡大事業」に取り組んでいる。今年度は、補助対象建築物の範囲を広め、対象となる JAS 製品も大幅に追加され補助制度なども見直されている。

今回、外構部の木質化を支援する「外構部の木質化対策支援事業」も合わせて、以下の日程で開催され、設計・施工業者、県、市町村の行政担当者、発注者等を対象に会場合計で 80 名以上の方が参加された。

- | | | |
|----------|------|--------------|
| 6月11日（火） | 安芸市 | 安芸市民会館 |
| 6月12日（水） | 高知市 | ちより街テラス |
| 6月13日（木） | 四万十市 | 中村地区建設協同組合会館 |



① かがわ家博参加企業との大商談会

日時：令和元年 7 月 8 日(月)

場所：香川県高松市寿町 高松センタービル

来客：約 100 人 70 社



一般社団法人かがわ家博は香川県内の工務店が合同し、住宅展示場を隔年で開設(2016 年、2018 年、2020 年予定)するとともに、消費者向けイベントとしてサンメッセ香川において「わくわく家まつり」を毎年開催(2017 年、2018 年、2019 年 8 月 17・18 日開催予定)している。

この今年の「わくわく家まつり 2019」に土佐材流通促進協議会として 3 年連続の出展申し込みをしている。(今年参加の会員は(協)ドライウッド土佐会・田中石灰工業(株))

主催者側工務店 15 社との商談会に参加して各企業と面談し、TOSAZAI の品質の高さをアピールするとともに土佐材パートナー企業の説明を行ってきた。

「かがわ家博」に加盟する工務店の中には、すでに土佐材パートナー企業登録をしている会社は 4 社ある。(建築工房ライズ、ビルド、黒石建設、かがわの家ドットコム)

来年の後半には各社がモデルハウスを 1 棟ずつ建築するので、残りの 11 社にも土佐材パートナー企業に加入するよう勧めてきた。



② 「土佐の自然素材で家づくり」 神戸商談会

日時：令和元年 7 月 11 日(木)

場所：兵庫県神戸市中央区
神戸市勤労会館

来客：4 社 4 人

5 年ぶりに神戸で商談会を開催した。

今回は神戸市近郊で営業する工務店に向けて案内 DM を出したが、事前の申し込みが少なく、急遽、関西地域のパートナー企業にも声を掛けてみた。最終的には案内ハガキを持参して当日飛び入り来場した工務店などいて、全部で 4 社 4 人の来場となった。



田中石灰工業（株）がCNF(セルロースナノファイバー)入りの漆喰を新発売した点や、土佐和紙壁紙の製造工場の(株)モリシカが初めて参加したことなど高知県側企業からアピールする内容も多くあり、各ブースで来場者との面談もじっくりと行えた。

新規に来場した工務店のうち1社は土佐材パートナー企業への加盟を検討している。

平成22年度から開催している消費地商談会事業もこの会場で31回目となった。これまでに行ってきた邸別販売の新規開拓により土佐材パートナー企業は全国各地で123社となり、関西地域は現在49社ある。

今後は県産材の外商促進に向けて実績棟数を増やすことも考えて、既存の土佐材パートナー企業への後追い営業も必要になっている。



③ インテリアライフスタイルフェア

日時：令和元年7月17日（水）～19日（金）

場所：東京ビッグサイト

来客：21,494人(3日間合計)

実施主体：高知県産業振興センター



(高知県参加企業)：(株)土佐龍、(有)戸田商行、四万十町森林組合大正集成材工場、クルミ工房、(株)エコアス馬路村、(株)イータスインザルーム、(株)土佐組子、木工連(ミロクテクノウッド)、山のくじら舎(西アトリウム単独出展)

促進協議会としては初めてインテリアライフスタイルへの出展となった。

出展店舗はどこも小規模ではあるが、おしゃれな雰囲気を出している。今回出展の高知県の木製品は他県に無い出展品目ばかりで特徴があり、好評だった。

デパートなどからの展示会出展依頼も複数あり、今後の外商活動にもつながるイベントだった。



土佐材流通促進協議会・展示会事業

① 令和元年度 東京中央木材市場 第6回優良高知土佐材展

日時：令和元年 6月19日(水)

13:00~15:30

場所：千葉県浦安市千鳥13番地
東京中央木材市場(株)

浜問屋：カネイチ大東(株)
(株)農林、京南木材(株)

来客数：約50人 (参加者 約70人)



事業の概要

東京中央木材市場(株)で第6回目となる優良高知土佐材展を開催した。昨年の土佐材出品8社から今回は5社となり、出材積も50 m³ほど減。今回は地震の影響で、新潟や山形からの得意先も競り市に参加できなかったため、前回より来客数、売上げ等も少し減少している。

役物平角、桧・柱ともかなり厳しい単価で、桧柱もほぼ杉の価格に近い相場の競りとなった。7月初めは大きい記念市もあるため、買い渋り傾向もみられた。来年度は全国の各地域材との差別化を図りながら、出展材日程調整も含めて土佐材をPRする。

(事業実績) 出荷量：一般材・役物 約117.6 m³ 売上材積：93.48 m³ 売上金額 315.7 万円

② Aishin-Hikari ど真ん中祭り 土佐材展

日時：令和元年 7月13日(土)

場所：愛知県名古屋市瑞穂区 西垣林業(株)名古屋市場内

出展 伊藤製材・竹内製材・上村製材・後田製材所
秋山木工所ほか



事業の概要

今年2月に合併した(株)HIKARI 木材と(有)愛晋木材による第1回目のAishin-Hikari 誕生祭を西垣林業(株)名古屋市場内で開催した。今回の土佐材展販売では、高幡木材センター、西部木材センターの役物、一般材約80 m³を展示。市況の厳しい中、早くから買い方らも会場で品定めし競りに参加。単価は低調であるが中京地区はヒノキの需要も期待できるとあってAishin-Hikari では、今後も土佐材の認知向上や販路拡大を図るため、流通の促進にも力を入れてほしいとの要望もあった。

ちなみに昨年度の西垣林業、市売での平均単価は8万4千円



③ 令和元年度 第2回優良高知土佐材展 西垣林業(株) 名古屋市場

日時 : 令和元年 7月17日(水)

場所 : 愛知県名古屋市瑞穂区桃園町3番23号
西垣林業(株)名古屋市場

浜問屋 : (株)ナゴヤ辻文 来客数 : 約50人



事業の概要

中京地区で昨年度販売拡大拠点となった西垣林業(株)名古屋市場で第2回の優良高知土佐材展を開催した。今年は、前週に浜問屋単独土佐材展が開催されたため、客足もやや少なかった。そのため、浜問屋1社のみとなったが、市場さん、各浜問屋さんにも非常に販売努力をして頂き、1社としては、高い売上げとなり、土佐材PRにはなったと思われる。

製品は完売したが、単価は低調であった。中京地区はヒノキの需要が期待できるところで、需要先のニーズにあったきめ細かい製品販売に努力しながら土佐材の認知向上や販路拡大を続けていきたい。

(事業実績) 出荷量: 一般材・役物 約130 m³ 販売量: 約130 m³ 売上: 約970万円

株式会社山西 (土佐材展示会場にて)



高知県サプライチェーンマネジメント (SCM) 推進フォーラムへの

参加募集・登録について

当協会では、林野庁の補助事業の採択を頂き、効率的なサプライチェーン構築のための構想策定や川上・川中・川下の事業者の需給マッチングを推進ことに取り組むこととなりました。

高知県 SCM 推進フォーラムを設置するため、県内事業体の皆様に広くご案内し、下記の内容で第 1 回情報交換会を開催しますので、積極的なご参加をお願い申し上げます。

本事業に取り組むに当たって、合わせて県内の川上・川中・川下の事業者の皆様の参加募集・登録を行いたいと思います。

記

【第 1 回情報交換会】

日時：令和元年 8 月 6 日（火） 13：30～16：30

場所：サンピアセリーズ（高知市高須砂地 155 ☎088-866-7000）3F マリン（会議室）

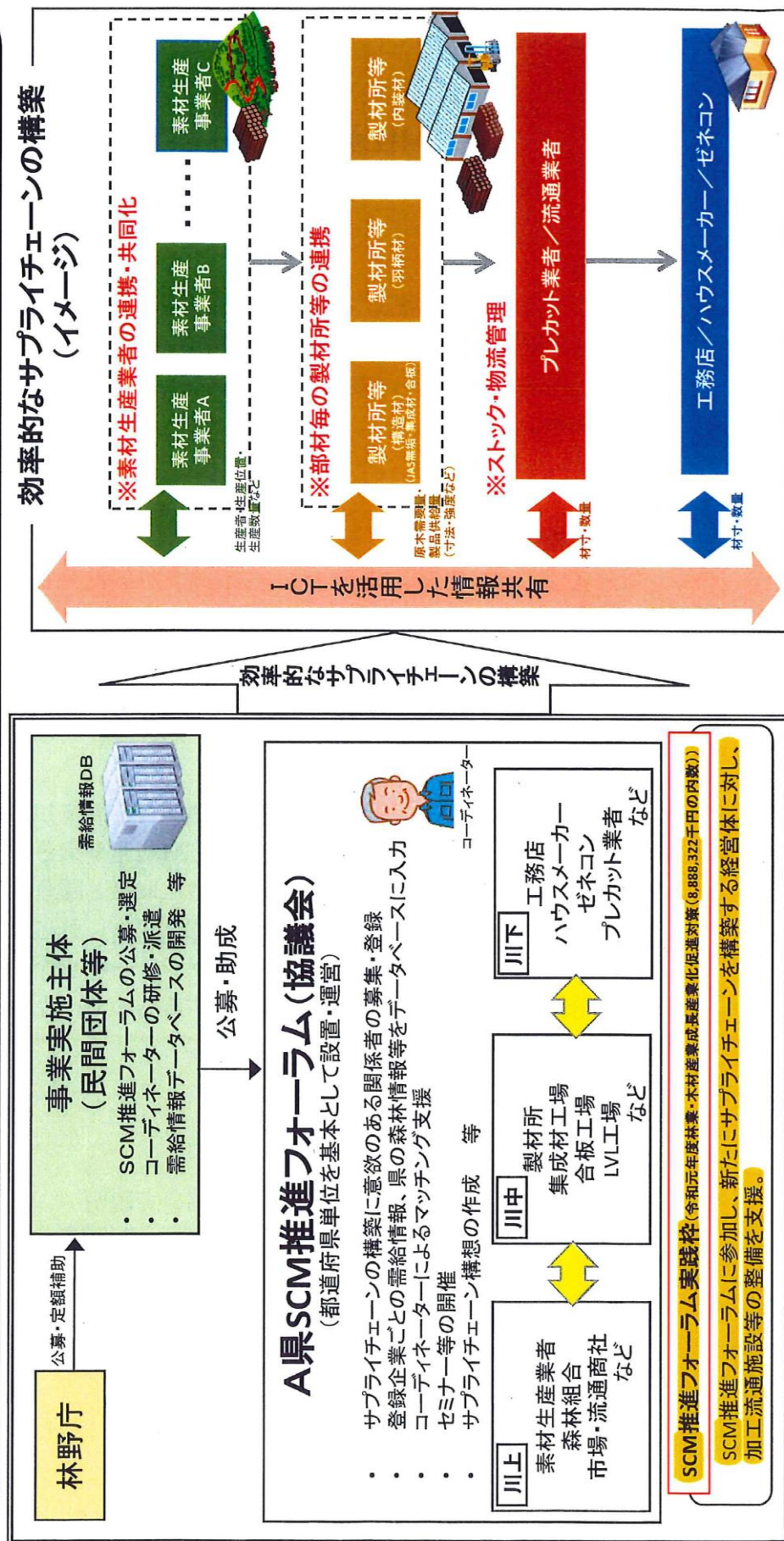
【内容】

- ◆ 効率的サプライチェーン構築事業について
- ◆ 情報提供 非住宅建築物における木材調達の課題（仮題）
（株）竹中工務店 木造・木質建築推進本部長 松崎裕之
- ◆ 意見交換

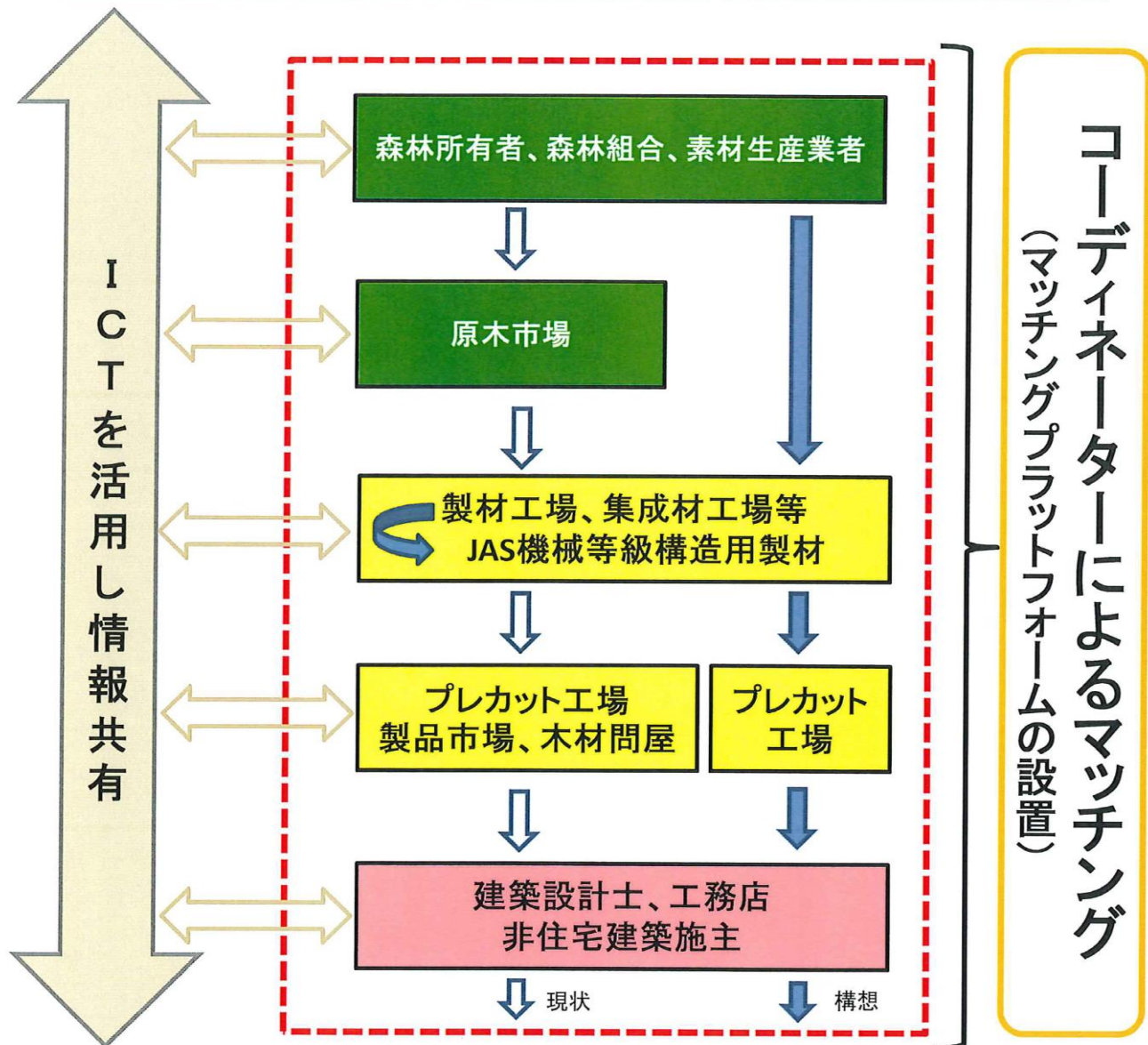


生産流通構造改革促進事業（効率的なサプライチェーンの構築支援）（新規）

- 川上から川下までの各段階をマーケットインの考え方に基き結びつけるために、川上から川下までの事業者の連携によるSC(サプライチェーン)構築を目指す必要。
- そのため、流通の各段階における事業者の「お見合いの場」として、SC構築に意欲のある事業者によるSCM(サプライチェーンマネジメント)推進フォーラムを設置し、ICTも活用した効率的なSC構築に向けたマッチングを推進。
- また、フォーラム参加者の需給情報を集約・共有する需給情報データベースを構築。



サプライチェーンマネジメントの構築(高知県)
非住宅建築物の木造化のサプライチェーンの最適化



年次計画(スケジュール)

実施項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フォーラム参加者業者の募集・登録	■	■								
マッチング等に向けた情報交換会の開催		■		■		■		■		
サプライチェーン構想・計画作成								■	■	■
需給情報データベースの操作方法等の指導 (マッチングプラットフォームでの日常的な活動)					■	■	■	■	■	■
コーディネーターによる事業者のマッチング (マッチングプラットフォームでの日常的な活動)		■	■	■	■	■	■	■	■	■

高知県立林業大学校

「短期課程リカレントコース」のお知らせ

林業大学校では、社会人の方々の「学び直し」の場として、本校の専攻課程の講義を聴講できる「短期課程リカレントコース」を設けております。

特に、専攻課程の木造設計コースでは、日本を代表する建築家及び木材や建築の専門家を講師陣に迎え、全国でも数少ない木造建築物の専門家を育成するため、従来の伝統的な木造建築を理解したうえで、これからの中大規模建築物の木造化に対応できるよう、幅広い知識や技術を習得する講座を設置しています。

当校の研修生以外の方々にも広く木造建築を学んでいただけるよう、「短期課程リカレントコース」として、「木造建築設計」「防災設計」「木材利活用」の3つ講座を開催しております。

他では学べない一流の講師陣による講義ですので、この機会に一度受講してみませんか？

区分	科目	内 容	定員	受講料	日程・時間	場所
IV 木造建築設計	木質構法概論	木質構法概論① 全体論、工学的視点 講師 東京大学生産技術研究所 教授 腰原 幹雄	30名程度	無料	終了しました	多目的実習室
		木質構法概論② 全体論、農学的視点 講師 東京大学 名誉教授 有馬 孝禮	30名程度	無料	終了しました	
		木質構法概論③ 全体論、社会的視点 講師 芝浦工業大学 名誉教授 三井所 清典	30名程度	無料	終了しました	
		木質構法概論④ 木造建築史 講師 工学院大学 理事長 後藤 治	20名程度	無料	9/12(木)13:00~16:10 9/13(金) 8:50~16:10	
	環境性能設計	環境性能設計① 温熱・省エネ環境設計 講師 岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 辻 充孝	30名程度	1,560円	11/ 6 (水)13:00~16:10 11/ 7 (木) 8:50~16:10 11/ 8 (金) 8:50~16:10	多目的実習室
		環境性能設計② 遮音・吸音設計 講師 国土技術政策総合研究所 設備基準研究室 室長 平光 厚雄	30名程度	1,040円	12/ 4 (水)13:00~16:10 12/ 5 (木) 8:50~16:10	
	コミュニケーション学	コミュニケーション学① 手法と実習① 講師 芝浦工業大学建築学部 教授 山代 悟	30名程度	1,020円	終了しました	多目的実習室
		コミュニケーション学② 手法と実習② 講師 株式会社スタジオ・クハラ・ヤギ 代表取締役 八木 敦司	30名程度	1,040円	2 / 6 (木)13:00~16:10 2 / 7 (金) 8:50~16:10	
		コミュニケーション学③ 手法と実習③ 講師 芝浦工業大学 特任講師 青島 啓太	30名程度	1,040円	2 /13(木)13:00~16:10 2 /14(金) 8:50~16:10	
		コミュニケーション学④ 手法と実習④ 講師 東畑建築事務所 設計室 主任技師 久保 久志	30名程度	1,040円	2 /20(木)13:00~16:10 2 /21(金) 8:50~16:10	
	設計・製図	設計・製図① 様々な木造建築の設計手法 講師 和田建築設計工房 和田 耕一	30名程度	1,040円	1 /23(木) 8:50~16:10 1 /24(金) 8:50~16:10	多目的実習室
V 防災設計	木質構造設計	木質構造設計① 構造設計概論 講師 東京大学 生産技術研究所 教授 腰原 幹雄	30名程度	無料	終了しました	多目的実習室
		木質構造設計② 小規模建築物の構造設計 講師 桜設計集団一級建築士事務所 佐藤 孝浩	30名程度	1,530円	7 /31(水)13:00~16:10 8 / 1 (木) 8:50~16:10 8 / 2 (金) 8:50~16:10	
		木質構造設計③ 中大規模建築物の構造設計 講師 山田憲明構造設計事務所 代表取締役 山田 憲明	30名程度	1,040円	12/ 9 (月)13:00~16:10 12/10(火) 8:50~14:30	
	防耐火設計	防耐火設計① 木造の防耐火設計の考え方・設計手法等 講師 桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井 昇	30名程度	2,070円	9 /18(水) 8:50~16:10 10/ 2 (水)10:30~16:10 10/ 3 (木) 8:50~16:10 10/ 4 (金) 8:50~16:10	多目的実習室
VI 木材利活用	木造建築施工	木造建築施工① 木造建築物の設計と施工 講師 株式会社総組 代表取締役 岸本 耕	30名程度	無料	8 / 5 (月)10:30~16:10 8 / 6 (火) 8:50~12:00	多目的実習室
		木造建築施工② 小規模木造の施工、伝統構法の施工技術 講師 宮内建築 代表 宮内 寿和	30名程度	無料	2 /26(水)13:00~16:10 2 /27(木) 8:50~14:30	
		木造建築施工③ 中大規模、非住宅建築物の施工、集成材・CLT 講師 山佐木材株式会社 技術開発部 担当部長 塩崎 征男	30名程度	無料	3 / 5 (木)14:40~16:10 3 / 6 (金) 8:50~16:10	
	木材利用	木材利用① 木材流通(川上から川下の流れ)、木材規格(JAS、品質管理)、サプライチェーン 講師 有限会社ウッズ 代表 能口 秀一	30名程度	無料	12/13(金)10:30~16:10	多目的実習室
		木材利用② 木材調達の実際とシミュレーション 講師 サウンドウッズ 代表理事 安田 哲也	30名程度	無料	1 / 9 (木)13:00~16:10 1 /10(金) 8:50~16:10	
	木材加工	木材加工① 木材物理・性質・特徴 講師 秋田県立大学 名誉教授 飯島 泰男	30名程度	無料	9 /19(木)13:00~16:10 9 /20(金) 8:50~12:00	多目的実習室

日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はホームページ等でご確認ください。

■申込みについて

高知県林業労働力確保支援センターHP、FAX、メールからお願いします。

FAX 0887-57-0396 mail info@shien-center39.com



住宅着工情報

全国住宅着工戸数

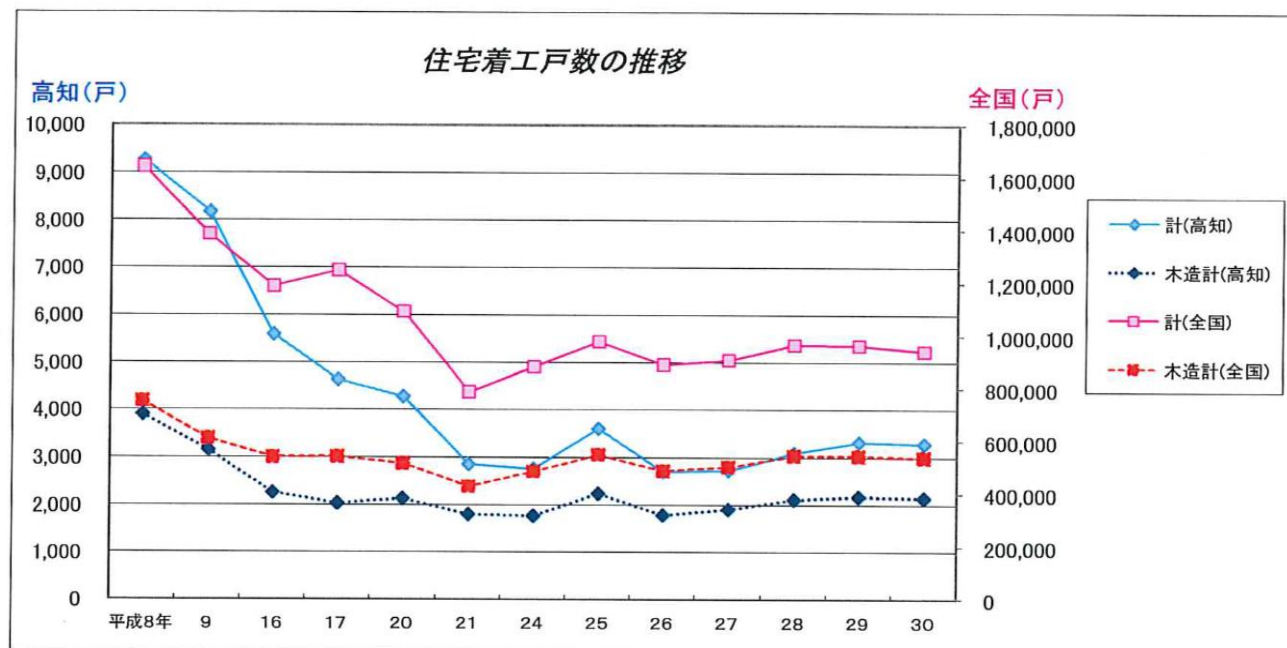
令和元年5月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

(単位：戸、%)

	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	2,979	-9.2	1,221	22.2	1,504	-23.3	21	-12.5	233	-21.5	40	-69.2	193	15.6
青森	514	-10.8	379	4.7	87	-41.6	0	-100.0	48	-25.0	0	0.0	48	-25.0
岩手	694	1.3	446	10.9	194	-20.8	1	-	53	39.5	0	0.0	53	39.5
宮城	1,395	-22.4	558	10.9	548	-31.7	1	-50.0	288	-41.2	5	-98.0	283	16.9
秋田	373	-15.8	290	-5.8	58	-42.0	0	-100.0	25	-26.5	0	0.0	25	-26.5
山形	555	28.2	254	6.3	246	70.8	3	-25.0	52	13.0	0	0.0	52	15.6
福島	600	-18.9	370	-13.3	132	-17.5	1	0.0	97	-36.2	1	-97.7	73	-32.4
茨城	1,430	-14.1	826	3.9	346	-35.0	4	-69.2	254	-21.8	0	0.0	254	-21.8
栃木	836	-18.2	529	-2.6	148	-31.8	3	-85.0	156	-35.5	0	0.0	156	-35.5
群馬	1,038	-0.5	558	13.9	248	-23.7	2	-	230	0.9	0	0.0	230	0.9
埼玉	4,301	-10.2	1,241	-1.0	1,174	-40.8	22	83.3	1,864	21.0	697	99.7	1,167	-1.9
千葉	2,556	-23.3	813	1.9	751	-39.7	9	-95.6	983	-9.4	212	-20.0	761	-6.3
東京	10,340	-21.5	1,304	-3.8	4,446	-30.2	55	-89.2	4,535	-8.2	2,800	-10.4	1,677	-4.7
神奈川	6,740	27.7	1,193	12.2	2,230	26.5	58	-	3,259	32.9	1,678	58.5	1,552	17.0
新潟	1,112	27.8	704	11.4	284	80.9	3	50.0	121	53.2	56	-	65	-17.7
富山	549	0.9	333	7.1	161	-11.5	1	-85.7	54	22.7	0	0.0	54	35.0
石川	569	-8.7	324	3.5	151	-25.2	2	-95.0	92	35.3	0	0.0	92	35.3
福井	440	15.5	277	23.7	85	-33.6	1	0.0	77	175.0	39	-	38	35.7
山梨	398	29.6	261	22.5	89	43.5	0	0.0	48	50.0	0	0.0	48	50.0
長野	1,190	31.8	628	11.5	335	45.0	2	-66.7	225	118.4	131	-	94	-8.7
岐阜	876	-12.7	517	-2.5	219	-6.4	1	-66.7	139	-41.1	0	-100.0	139	-6.1
静岡	2,110	0.1	1,141	11.0	522	-26.6	10	66.7	437	20.4	145	48.0	292	10.2
愛知	7,154	18.8	2,085	26.2	2,573	14.1	1	-98.4	2,495	21.5	1,149	37.8	1,344	10.3
三重	959	32.1	485	22.8	367	69.9	1	-87.5	106	-0.9	0	-100.0	106	34.2
滋賀	640	-12.8	381	-8.9	149	-24.7	1	-	109	-7.6	0	0.0	109	-7.6
京都	1,130	-34.5	396	14.5	329	-57.6	13	-89.3	392	-18.5	162	-36.5	230	1.8
大阪	5,721	-31.0	961	11.7	2,825	-2.1	53	2,550.0	1,882	-58.6	1,006	-72.2	861	-6.3
兵庫	1,881	-22.9	739	-3.0	681	-16.6	1	-80.0	460	-46.3	109	-72.4	351	-23.9
奈良	514	-2.8	241	-2.8	127	5.8	1	-	145	-9.9	0	0.0	145	-9.9
和歌山	367	-12.8	187	-27.2	133	24.3	0	0.0	47	-17.5	0	0.0	47	-17.5
鳥取	212	-1.4	141	-6.0	55	3.8	2	-	14	16.7	0	0.0	14	16.7
島根	324	37.3	164	51.9	133	9.9	0	-100.0	27	575.0	0	0.0	27	575.0
岡山	794	-19.0	481	30.4	225	-35.0	2	-86.7	86	-65.6	0	-100.0	86	-13.1
広島	1,266	-15.8	452	5.4	391	-28.0	9	-88.5	414	-8.6	157	-30.5	257	13.2
山口	390	-17.7	195	-21.1	141	13.7	1	-	53	-48.5	0	-100.0	53	-17.2
徳島	430	18.8	184	1.1	222	38.8	0	0.0	24	20.0	0	0.0	24	20.0
香川	325	-6.3	210	0.0	96	-6.8	0	0.0	19	-44.1	0	0.0	19	-44.1
愛媛	702	0.3	340	4.3	216	-20.9	0	0.0	146	44.6	105	138.6	41	-28.1
高知	257	1.2	108	-12.2	77	-28.7	0	-100.0	72	227.3	45	-	27	22.7
福岡	3,053	-7.7	826	1.0	1,519	-9.9	15	25.0	693	-12.6	270	-33.7	410	6.2
佐賀	370	1.4	194	11.5	148	-5.7	0	-100.0	28	-15.2	0	0.0	28	-15.2
長崎	534	8.5	254	-5.9	155	13.1	15	36.4	110	48.6	75	56.3	35	34.6
熊本	1,344	-9.7	503	-12.7	694	2.4	1	0.0	146	-37.3	51	-58.5	95	-13.6
大分	615	1.0	256	-6.9	189	-19.9	52	1,633.3	118	24.2	63	26.0	55	22.2
宮崎	660	45.1	306	38.5	298	45.4	1	-50.0	55	103.7	0	0.0	55	103.7
鹿児島	637	-10.9	415	17.6	130	-17.2	5	-37.5	87	-55.8	0	-100.0	87	-19.4
沖縄	707	-38.4	155	-22.5	333	-53.7	0	0.0	219	-4.4	169	17.4	47	-44.7
合 計	72,581	-8.7	24,826	6.5	26,164	-15.8	374	-68.6	21,217	-11.4	9,165	-22.7	11,899	-0.4
北海道	2,979	-9.2	1,221	22.2	1,504	-23.3	21	-12.5	233	-21.5	40	-69.2	193	15.6
東北	4,131	-11.6	2,297	2.5	1,265	-20.9	6	-33.3	563	-31.7	6	-97.9	534	0.6
関東	28,829	-8.5	7,353	3.9	9,767	-23.3	155	-79.7	11,554	5.5	5,518	15.0	5,939	-1.3
北陸	2,670	10.4	1,638	10.7	681	1.8	7	-86.0	344	57.1	95	-	249	15.8
中部	11,099	12.6	4,228	17.3	3,681	7.8	13	-83.8	3,177	15.2	1,294	23.5	1,881	9.9
近畿	10,253	-27.5	2,905	0.5	4,244	-13.5	69	-46.5	3,035	-51.2	1,277	-70.1	1,743	-10.2
中国	2,986	-12.4	1,433	10.0	945	-20.4	14	-85.4	594	-27.7	157	-62.3	437	7.6
四国	1,714	3.1	842	0.1	611	-5.1	0	-100.0	261	47.5	150	240.9	111	-16.5
九州	7,213	-2.9	2,754	2.5	3,133	-3.7	89	134.2	1,237	-14.8	459	-36.0	765	4.1
沖縄	707	-38.4	155	-22.5	333	-53.7	0	0.0	219	-4.4	169	17.4	47	-44.7
首都圏	23,937	-9.9	4,551	1.8	8,601	-24.3	144	-80.1	10,641	6.2	5,387	12.3	5,157	1.3
中部圏	11,099	12.6	4,228	17.3	3,681	7.8	13	-83.8	3,177	15.2	1,294	23.5	1,881	9.9
近畿圏	10,253	-27.5	2,905	0.5	4,244	-13.5	69	-46.5	3,035	-51.2	1,277	-70.1	1,743	-10.2
その他地域	27,292	-5.8	13,142	6.4	9,638	-15.5	148	-42.4	4,364	-11.8	1,207	-30.8	3,118	-2.6

新設住宅着工数の推移

平成30年の全国住宅着工戸数は、94万戸超と2年ぶりに95万戸を下回った。なお、ここ10年（平成21年次から）では4番目に高い水準となっている。本県の住宅着工数は3,288戸でと前年に比べて約1%減少している。また、本県の一戸建住宅着工戸数は1,808戸で、木造率は93%と、全国平均の90%に比べて3%上回っている。



区分 年次		高知県				全 国			
		木造計	非木造	計	木造率	木造計	非木造	計	木造率
		(戸)	(戸)	(戸)	(%)	(戸)	(戸)	(戸)	(%)
H16	全体	2,255	3,343	5,598	40	540,756	648,293	1,189,049	45
	一戸建	2,008	555	2,563	78	432,614	82,096	514,710	84
H20	全体	2,133	2,151	4,284	50	516,875	576,644	1,093,519	47
	一戸建	1,560	324	1,884	83	377,849	63,678	441,527	86
H22	全体	1,979	701	2,680	74	460,134	352,992	813,126	57
	一戸建	1,610	261	1,871	86	364,817	57,090	421,907	86
H24	全体	1,770	991	2,761	64	486,755	396,042	882,797	55
	一戸建	1,652	221	1,873	88	382,944	56,644	439,588	87
H25	全体	2,238	1,374	3,612	62	549,971	429,712	979,683	56
	一戸建	2,000	244	2,244	89	436,404	59,334	495,738	88
H26	全体	1,791	915	2,706	66	489,463	402,798	892,261	55
	一戸建	1,648	175	1,823	90	369,620	47,548	417,168	89
H27	全体	1,912	822	2,734	70	504,318	404,981	909,299	55
	一戸建	1,620	150	1,770	92	367,374	47,134	414,508	89
H28	全体	2,114	984	3,098	68	546,336	420,901	967,237	56
	一戸建	1,680	156	1,836	92	386,116	47,243	433,359	89
H29	全体	2,177	1,149	3,326	65	545,366	419,275	964,641	57
	一戸建	1,707	142	1,849	92	383,773	45,296	429,069	89
H30	全体	2,145	1,143	3,288	65	539,394	402,976	942,370	57
	一戸建	1,676	132	1,808	93	387,916	43,427	431,343	90

[資料] 住宅着工統計 (国土交通省)

国産原木市況

好調な出材が継続中

6月上旬の森連共販平均価格は、スギ柱用材が前月比 m^3 当り200円安の1万1,000円、同中目材は300円安の1万1,400円。ヒノキ柱用材が300円安の1万4,900円、同中目材は400円安の1万5,400円となった。

共販所の取り扱いが出材増により増えており、特に、スギの原木出材量は昨年同月と比較して先月に引き続き1万 m^3 弱増加してい

る。そのため、相対的に価格は維持～軟調な相場が続いている。

一方、一部の地域では劣材・曲がり材に引き合いが強く9,000円/ m^3 を超えての取引も見受けられた。

製品市況については停滞感が続いているものの、これからの荷動きに期待したい。

7月以降は天候不順により生産量が落ちることが予想され、品薄による需給バランスの改善に期待したい。

全国森林組合連合会系統事業部

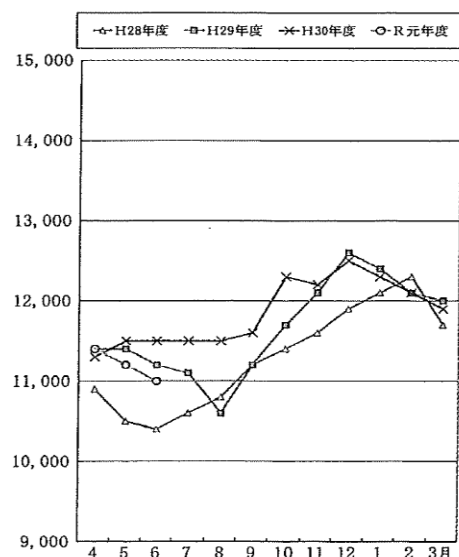


図1 スギ柱 価格推移

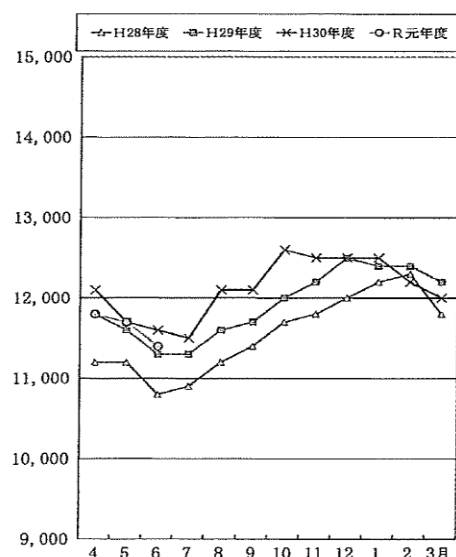


図2 スギ中目 価格推移

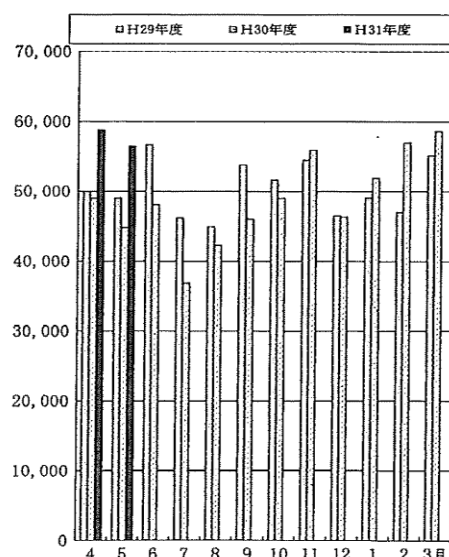


図3 スギ丸太販売量の推移 (m^3)

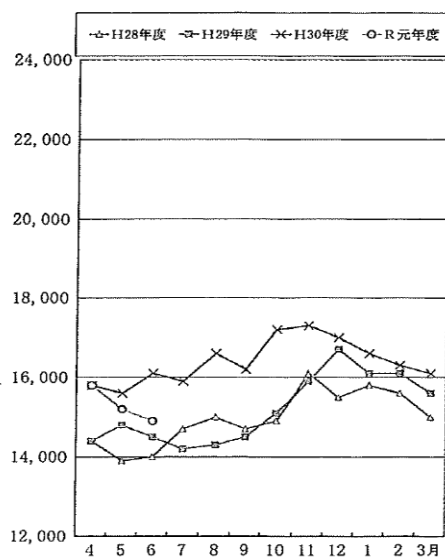


図4 ヒノキ柱 価格推移

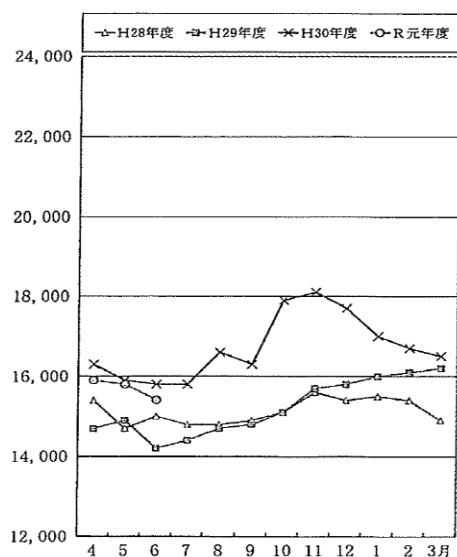


図5 ヒノキ中目 価格推移

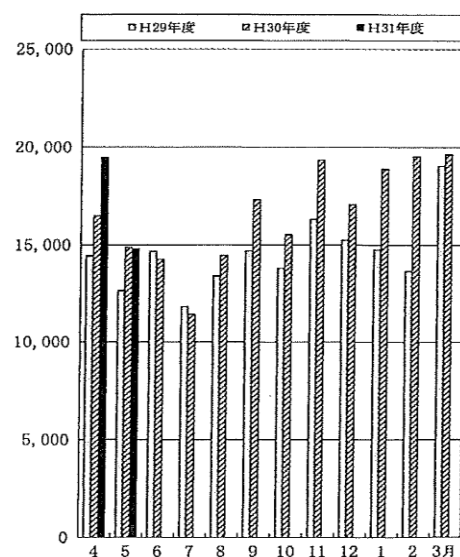


図6 ヒノキ丸太販売量の推移 (m^3)

7月の木材価格・需給動向

↑…急上昇
 ↗…上昇
 →…横ばい
 ↘…低下
 ↓…急落

樹種・品目	規格	等級	単位	前月	当月	先行	備考
<丸太>							
スギ柱もの	14～18cm、3m	2等	m ³	13,000	12,300	↘	北関東産、市場土場渡し
スギ中目	18～28cm、3.65m	2等	m ³	11,500	12,000	↘	北関東産、市場土場渡し
ヒノキ柱もの	14～18cm、3m	2等	m ³	16,200	15,800	→	北関東産、市場土場渡し
ヒノキ中目	18～28cm、4m	2等	m ³	17,800	17,100	→	北関東産、市場土場渡し
米マツ	34cm上、12m	カスケード	m ³				(注) 調査不能
米マツ	30cm上、12m	コースト、ISタイプ	m ³	30,240	30,240	→	京浜・置場オントラ渡し
メランティ	75cm上、4m上、製材用	レギュラー	m ³	50,040	50,040	→	木更津・水面筏渡し
メランティ	60cm上、4m上、合板用	レギュラー	m ³	38,160	38,160	→	木更津・水面筏渡し
ロシアアカマツ中目短定	20～26cm、3.8m	1、2等込み	m ³	25,200	25,200	→	北陸・置場オントラ渡し
ロシアエゾマツ中目短定	20～28cm、4m	1、2等込み	m ³	24,480	24,480	→	北陸・置場オントラ渡し
チップ用	針葉樹		m ³	6,200	6,200	→	東海・工場着
<製品>							
スギ柱角 (KD)	10.5cm×10.5cm×3m	特等	m ³	58,000	58,000	→	関東近県産、市場渡し
スギ柱角 (KD)	12.0cm×12.0cm×3m	特等	m ³	55,000	55,000	→	関東近県産、市場渡し
スギ間柱 (KD)	3.0cm×10.5cm×3m		m ³	58,000	58,000	→	関東近県産、市場渡し
スギ加工板	1.3cm×18.0cm×3.65m	特等	束	2,600	2,600	→	東北産、市場渡し
スギタルキ	3.0cm×4.0cm×4m		m ³	42,000	42,000	→	関東近県産、市場渡し
ヒノキ柱角 (KD)	10.5cm×10.5cm×3m	特等	m ³	68,000	68,000	→	関東近県産、市場渡し
ヒノキ柱角 (KD)	12.0cm×12.0cm×3m	特等	m ³	67,000	67,000	→	関東近県産、市場渡し
ヒノキ土台角	12.0cm×12.0cm×4m	特等	m ³	67,000	67,000	→	関東近県産、市場渡し
米ツガ桁角 (KD、カナダ産)	10.5cm×10.5cm×4m	Std & Btr、S4S	m ³	61,000	60,000	↘	京浜・問屋店頭渡し
米マツ桁角 (GR、カナダ産)	4・1/8インチ角、13フィート	Std & Btr、S4S	m ³	59,000	59,000	↘	京浜・問屋店頭渡し
米ヒバ土台角 (GR、カナダ産)	4・13/16インチ角、13フィート	Std & Btr	m ³	65,000	64,000	→	京浜・問屋店頭渡し
米マツ平角 (KD、国内挽き)	10.5cm×24.0cm×4m	特等	m ³	63,000	63,000	↘	京浜・問屋店頭渡し
ロシアアカマツ (KD)	30×40AB		m ³	65,000	65,000	→	京浜置場オントラ渡し
ロシアアカマツ (KD)	15×45AB 18×45AB		m ³	72,000	72,000	→	京浜置場オントラ渡し
ホワイトセラヤ平割 (サバ州産)	2.4cm×込み×4m	定尺1等	m ³	175,000	175,000	→	東京・問屋店頭渡し
ホワイトウッド間柱	2.7cm×10.5cm×3m	S4S、FOHC	m ³	52,000	52,000	→	東京・問屋店頭渡し
ホワイトウッドラミナ	2.4cm×11.0cm×3m上	ラフ乱尺	m ³	38,000	37,000	↘	東京・問屋店頭渡し
スギ集成柱 (国産)	10.5cm×10.5cm×2.98m	JAS 5プライ無化粧	本	1,750	1,750	↗	東京・問屋店頭渡し
ホワイトウッド集成柱 (国産)	10.5cm×10.5cm×2.98m	JAS 5プライ無化粧	本	1,900	1,900	→	東京・問屋店頭渡し
ホワイトウッド集成柱 (欧州産)	10.5cm×10.5cm×2.98m	JAS 5プライ無化粧	本	1,900	1,900	→	東京・問屋店頭渡し
チップ	針葉樹	BDT1t換算	m ³	9,400	9,400	→	東海・置場オントラ渡し
<合板>							
薄物 (国産)	2.3mm×91cm×182cm	JAS、F☆☆☆☆	枚	640	630	↘	東京・問屋店頭渡し
中厚物 (国産)	4.0mm×91cm×182cm	JAS、F☆☆☆☆	枚	780	760	↘	東京・問屋店頭渡し
型枠 (国産)	12.0mm×90cm×180cm	JAS	枚	1,470	1,450	↘	東京・問屋店頭渡し
針葉樹構造用	12.0mm×91cm×182cm	JAS、F☆☆☆☆	枚	1,190	1,190	↗	東京・問屋店頭渡し

注) 価格およびコメントは木材業界の委員から構成される市況検討委員会の報告をもとに作成したものである。

四国で相次ぐ大型製材工場、 木質バイオマス発電所の稼働

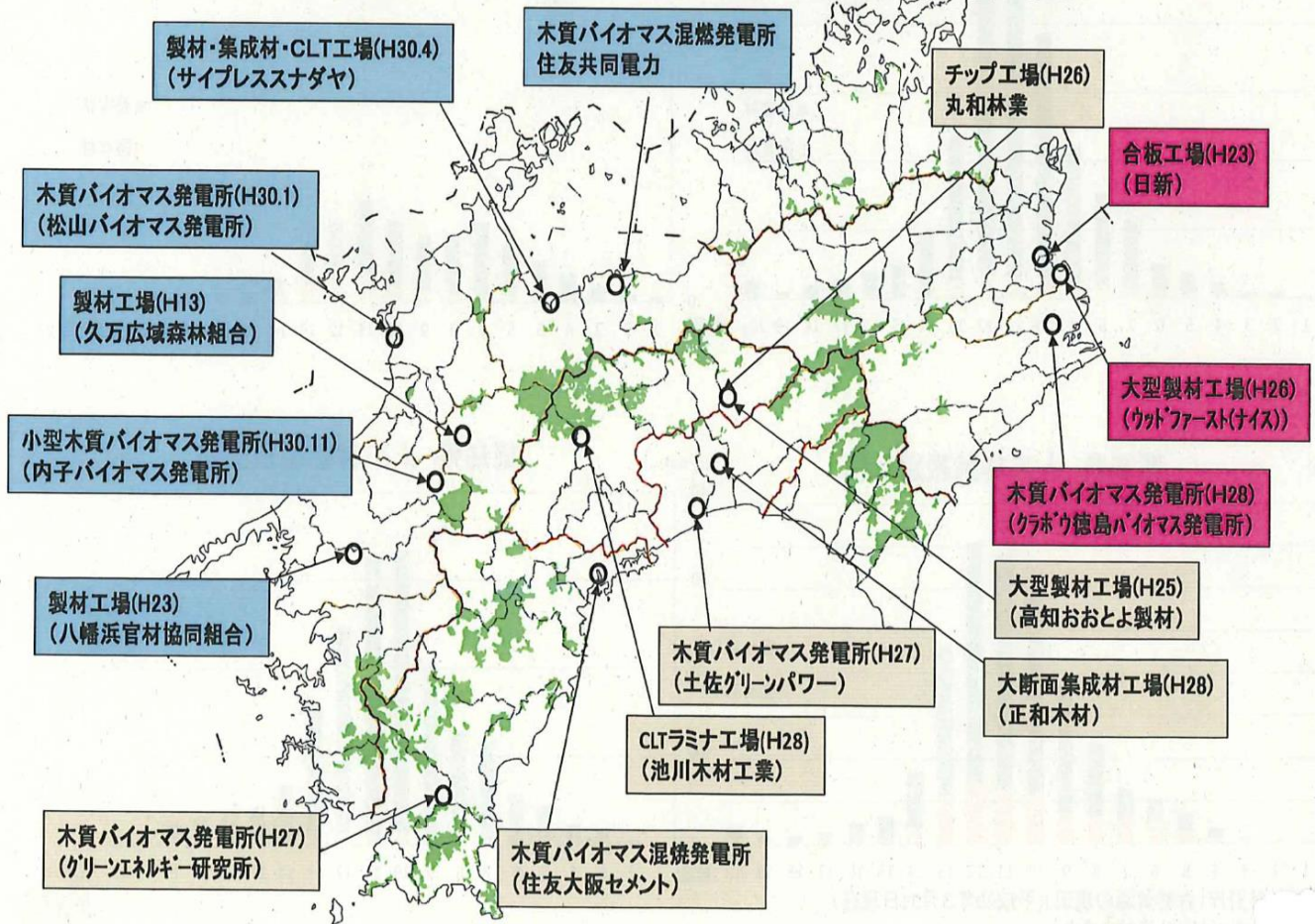


表 四国の木質バイオマス発電所の概要

発電所名	土佐グリーンパワー(株)土佐発電所	(株)グリーンエネルギー研究所	倉敷紡績(株)徳島バイオマス発電所	合同会社愛媛森林発電
操業	2015年	2015年	2016年	2017年
発電出力	6,250kw	6,500kw	6,200kw	1万2,500kw
原料	未利用材	未利用材と一般材	未利用材	未利用材とPSK
仕入形態	原木	原木	チップ	チップ
原料調達	高知県森連一元納材	広域・分散集荷	(株)徳信一元納材	3社による分担納材
電力販売先	出光グリーンパワー(株)	四国電力(株)	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	四国電力(株)・新電力会社

注：各事業体での聞き取り調査による。



最新プレカット導入

高知プレカット（高知県木材商業協同組合）



高知プレカット（高知県木材商業協同組合）は、国内で2台目となる最新のプレカットマシーンを一部導入し設備を総入れ替えした。6月6日より入れ替え作業を開始、26日にはマシーンの試運転ほか調整も終わり、現在受注に対応している。旧設備は14年近く使われていた。

旧設備と比較すると羽柄材などは倍近く生産でき、納期短縮ほか迅速で精密な仕上がりを追求しながら各受注に対応したいとしている。

◆総事業費：約5億7千万（ソフト version アップ含め・国の補助は約2億5千万）

前年度、高知プレカットでは、年間約2万2千坪（約600棟）を生産。機械導入後は、人件費削減ほか雇用環境の改善も図りながら生産拡大を目指す。

素材市場

株式会社 ゲンボク市場 最終市売り

株式会ゲンボク市場（尾崎 徳七社長）は、市場敷地の団地開発に伴い7月12日（金）を最後の市として、約65年間に渡った市場運営を終了した。

最終の競り市となったゲンボク市場には、閉鎖を惜しむ県内外の多くの買い方が競りに参加。ほぼ全量完売し、9月の移転時期までには、資材を含む設備等を処分し搬出作業を行う。



（株式会社 ゲンボク市場）

当社は、昭和28年12月より操業を始め、そこから移転拡張を何度か行い、現在の場所に落ち着きました。創業から約65年という本当に長い期間、素材市場として活動してまいりました。

しかし、近年の木材流通の変化もあり、現在の状況が続ける困難であることと、県市の震災対策の産業団地開発協力のために、この度、市場を含めた一帯の土地を売却することになりました。

市場を残すのか、移転するのか、それとも全く別の事業をするのか非常に悩みました。（中略）安易に何をするか決めるよりは、時間がかかったとしても、今の木材産業に合った事業をするべきと判断し、一度市場運営を停止することになりました。

この場所で行う市場は最後となりますが、案内の通り会社は解散しませんので、この木材業界でまたお世話になることもあるかと思います。その時はぜひよろしくお願い致します。

尾崎 徳七

◆行事予定（令和元年8～9月）

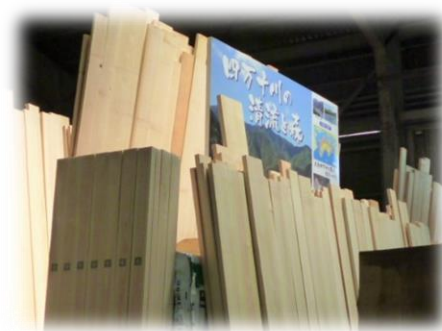


行事

◆ 8月06日（火）：サプライチェーン第1回情報交換会	会場（サンピアセリーズ）pm.1：30～4：30
◆ 8月08日（木）：全木連総務委員会（森林・林業・木材関係施業に関する説明会）	
◆ 8月17（土）～18日（日）：かがわ家博（サンメッセ香川）	
◆ 8月24（土）～25日（日）：スーパーよさこい（木製品展示）会場：東京（表参道）	
◆ 8月28日（水）：ナイス福岡（土佐材展）	
◆ 8月28日（水）：地域材の需要拡大セミナー（一大径化する資源と外構分野への利用－）会場（サンピアセリーズ）	
◆ 8月30日（金）：（一社）高知県山林協会 通常総会	
◆ 9月04日（水）：製材事業者・経営力向上セミナー（高知県森林組合連合会）	
◆ 9月05日（木）～6日（金）：岡山扇（竜野ナイスフェア）	
◆ 9月06日（金）：ヒカリ金沢（土佐材フェア）	
◆ 9月12日（木）：高知都市木造セミナー（高知会館）	

次世代へつなぐ ウッドファースト社会 を目指して

木を育て～木に親しみ～木を活かす



一般社団法人 高知県木材協会

〒781-0801 高知市小倉町2番8号

☎ 088-883-6721 fax 088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com>

（写真は山西ブロッドフェアで遊ぶ子供たち 5月25日・愛知県）